

第670号 毎月1回発行
2006年(平成18年)

11月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人 2006(平成18)年9月末現在	
総人口	316,004(1,908)
男	152,704(993)
女	163,300(915)
世帯数	129,643(1,103)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	93,304
真和志	105,526
首 里	58,321
小 緑	56,945



綱も熱気も世界一

主な紙面
イベント「那覇大綱挽」が10月8日、沖縄の大動脈、国道58号久茂地交差点周辺を舞台に開催されました。
長200m、男綱100m、全長200mのギネス認定、世界一を行われるものと違い、そもそもは、400年近い歴史を持つと言われています。

今年は、5年に1回行われる「世界のウチナーンチュ大会」の開催年にあたるため、10月12日のオープニングを前に既に来沖していた大勢の「世界のウチナーンチュ」が、綱挽に参加。

沖縄を遠く離れた世界の国々に暮らすウチナーンチュが那覇に集い、市民・県民・観光客らと一緒に、声を揃え力を合わせて世界一大勢の「世界のウチナーンチュ」が、綱挽に勝負が決すると、外国に暮らしても、イチャリバ兄弟（行き会えば皆兄弟という意味）の精神が息づいているようで、周りの人たちと旧知の友人のように肩を叩き合い、健闘を称えあっていました。

綱挽の終わってからは、爽やかな新北風が吹き抜け、南国・那覇に秋の到来を告げていました。（4面に関連記事）

第36回那覇大綱挽

36回を数える那覇まつりのメイン

イベント「那覇大綱挽」が10月8日、

沖縄の大動脈、国道58号久茂地交差

点周辺を舞台に開催されました。

女綱100m、男綱100m、全

長200mのギネス認定、世界一を行われるものと違い、そもそもは、400年近い歴史を持つと言われています。

今年は、5年に1回行われる「世界のウチナーンチュ大会」の開催年にあたるため、10月12日のオープニングを前に既に来沖していた大勢の「世界のウチナーンチュ」が、綱挽に参加。

沖縄を遠く離れた世界の国々に暮らすウチナーンチュが那覇に集い、市民・県民・観光客らと一緒に、声を揃え力を合わせて世界一大勢の「世界のウチナーンチュ」が、綱挽に勝負が決すると、外国に暮らしても、イチャリバ兄弟（行き会えば皆兄弟という意味）の精神が息づいているようで、周りの人たちと旧知の友人のように肩を叩き合い、健闘を称えあっていました。

綱挽の終わってからは、爽やかな新北風が吹き抜け、南国・那覇に秋の到来を告げていました。（4面に関連記事）

協働のまちづくり
那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力することです。

2006那覇市環境フェア
子育て応援DAYサービス開始
おかげりなさい世界のナーフアンチュー
コミュニティバスの試行運転始まります

6.7.5.4.3.2

（4面に関連記事）

沖縄を遠く離れた世界の国々に暮らすウチナーンチュが那覇に集い、市民・県民・観光客らと一緒に、声を揃え力を合わせて世界一大勢の「世界のウチナーンチュ」が、綱挽に勝負が決すると、外国に暮らしても、イチャリバ兄弟（行き会えば皆兄弟という意味）の精神が息づいているようで、周りの人たちと旧知の友人のように肩を叩き合い、健闘を称えあっていました。

綱挽の終わってからは、爽やかな新北風が吹き抜け、南国・那覇に秋の到来を告げていました。（4面に関連記事）

乳児健診で 親子あそびスタート



感覚遊びや親子体操などの遊びに、「とても面白い。子どもも楽しそう」という声が聞かれました。

また、家庭での取り組みとしては、休日は家族で遊び場やマップなどを活用して遊びの計画を家族みんなで立てることなどを具体的に掲げました。

市を取り組みとして、遊びの大切さを子どもの発達過程と関連付けて、親に啓発することをあげています。

また、家庭での取り組みとしては、休日は家族で遊び場やマップなどを活用して遊びの計画を家族みんなで立てることなどを具体的に掲げました。

現状として、父親は、休日は子どもと過ごすように心がけているが、子どもとの遊び方がよくわからないという声があります。また、母親は、父親が子どもと一緒に遊び児童に参加することによって、子育ての負担感や不安が軽減されるということをわかりました。

「あそびケーション」は、童歌を使った感覚遊びや親子ともを抱きあげて揺らす親子体操、子どもをぐぐと抱きしめてあげる遊びなど、親子のふれあいを大切にしたプログラムが、NPOの保育サポート「ゆい kid's」の実践の下、行われ、参加者からは「面白い遊びで、楽しい」という感想も聞かれました。

市では、今後も子どもたちが、心身ともに輝き、健やかに育つための環境づくりに努めます。

乳児健診は、両親で来るのも一緒に遊び方を学べる格好の場ととらえ、施策を検討していたところ、妊娠・出産・育児の情報誌を出版しているベネッセコーポレーションの寺田稔所長から「私たちの持つノウハウを活かし、那覇市と協働で、子どもた

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

100 再生紙を使用しています。